

2021年08月30日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

多様な建物の管理・運営実績を活かし、持続可能なまちづくりに参画

新球場「エスコンフィールド HOKKAIDO」

株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントと施設統括管理業務に関する契約を締結

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀 克英）は、2023年3月に北海道北広島市に開業する新球場「エスコンフィールド HOKKAIDO」の施設統括管理業務に関する契約を、株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント（本社：北海道札幌市豊平区、社長：川村 浩二）と締結したことをお知らせいたします。

■エスコンフィールド HOKKAIDO とは

「エスコンフィールド HOKKAIDO（以下、エスコンフィールド）」は、北海道日本ハムファイターズの新本拠地となるスタジアムで、2023年開業予定の「北海道ボールパーク F ビレッジ（以下、F ビレッジ）」に所在しています。

エスコンフィールドは今年、スポーツ庁および経済産業省が定める「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」に選定されています。



■当社の担う取り組みについて

株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントと施設統括管理業務に関する契約を通じて、下記の取り組みを進めてまいります。

1. エスコンフィールドのファシリティ管理

新球場エスコンフィールドは、世界最大級の LED ビジョン等の最先端技術を活用した装置や、電気ヒートポンプやガスコージェネレーションなどの省エネ・環境性に優れた設備の他、開閉式屋根や球場内温浴・ホテル施設等、最新鋭且つユニークな施設・設備で構成されています。これら施設・設備の運営管理および保守点検業務を、両社および両社が選定する協力会社にて担ってまいります。

2. F ビレッジの運営管理業務

F ビレッジにおける警備、清掃、植栽管理、除雪等を通じた維持管理業務を関連事業者と連携し、推進いたします。球場に隣接する公園エリアがより快適であり、皆様に四季折々の景色を楽しんでいただこう各種環境整備に努めてまいります。

3. 最新技術の導入による効率的な管理業務の推進

自社研修施設で、省人化や省エネ提案に向けた実証実験の場でもある「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA（ノティア）」と連携し、業務特性を見極めた上で最新技術を積極的に施設管理に導入してい

きます。人口減少、少子高齢化社会等の時代に合致した、より合理的な管理業務モデルを、エスコンフィールドを舞台に展開していきます。

4. 地域コミュニティとの連携

周辺地域の方々と一緒に F ビレッジにおけるまちづくり活動を実施してまいります。地域の皆さまが参画できるプログラムを形成し、幅広い世代の方々が多様な関わりあいが出来る「場づくり」に貢献いたします。

■東急コミュニティーについて

当社は、全国でマンション管理、ビル・施設マネジメント、公共施設管理運営を行う総合不動産管理会社です。マンションで 34 万戸、ビルで 1,100 件の管理実績がございます。その他、行政施設（指定管理者・PFI 等）のホールなどの文化施設・スタジアムなどのスポーツ施設や、空港関連施設など様々な用途の維持管理運営実績もございます。当社は運営管理を行っている、住宅・オフィス・商業施設の複合開発である「二子玉川ライズ」や、当社が指定管理者となっている「エコパスタジアム」等の実績・知見を活かし、新球場エスコンフィールドにご来場いただくお客様に安心、安全・快適な空間をご提供できるよう、最適な施設運営に従事してまいります。また、エスコンフィールドを核とした F ビレッジが目指す「あらゆる世代の方々が集うコミュニティの形成」や「共同創造による持続可能な街づくり」にも協力してまいります。

■施設概要



■エリア全体

名称： 北海道ボールパーク F ビレッジ
所在地： 北海道北広島市共栄 263 番地
敷地面積： 約 32 ヘクタール



■スタジアム本体

名称： エスコンフィールド HOKKAIDO
敷地面積： 約 5 ヘクタール
延床面積： 約 12 ヘクタール
規模/構造： 地上 6 階地下 2 階 S 造一部 RC 造
収容人数： 最大 35,000 名



【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター（担当：高村・小笠原）

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。